事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス　Wish宮の森			
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月24日	～	令和 8年 3月14日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	児童発達支援　6名 放課後等デイサービス　29名	（回答者数）	児童発達支援　5名 放課後等デイサービス　23名
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月23日	～	令和 8年 3月26日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様な活動提供	・運動活動（サッカー、空手など）や制作活動など様々な活動を提供し、多くの経験を重ねていただけるよう取り組んでいる ・屋外活動（野球など）の機会を多く取り入れ、のびのびと身体を動かす機会を設けている	・利用児の人数やニーズなどに沿って活動内容の検討、調整を行う ・定期の活動以外でも時季的な取り組みの機会を設け、多くの経験を重ねていただけるよう対応する
2	使用目的による複数の部屋の使い分け	・運動用の部屋、制作・玩具遊び用の部屋、勉強用の部屋を設け、活動の内容や目的に沿って使用している ・自由遊びの時間においても利用児の過ごしたい内容に沿って活動のスペースを設け過ごすことが出来るよう対応している	・利用児の年齢や人数によっては狭さを感じることがあるため、公園や地区センターの体育館などの地域資源を活用し、幅広く活動に取り組めるよう対応する
3	土曜日の開所	・通常のサービス提供時間では都合が合いにくい場合（中高生等）において、土曜日に開所をすることで利用をいただきやすいようはたらきかけている ・時季的なイベント等を土曜日に開催することで多くの利用児が参加出来るよう対応している	・引き続き様々なイベントを企画し、幅広い取り組みが出来るよう対応する ・利用児の年齢層の広がりに伴い、利用児のニーズや各年齢帯に沿って活動等の提供が出来るよう検討する

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	サービス毎による提供時間の区分け	・児童発達支援を午前、放課後等デイサービスを午後とサービス毎に提供時間を分けているため、利用のニーズに応えられないことがある	・利用児の状況においてサービス毎の提供時間の区分けは継続すべき点と捉えているが、多くの年齢での関わりの機会等を設けることが出来るようイベントを検討する
2	事業所状況の伝達	・事業所で策定している各マニュアル等について、保護者の認知に至っていないことがあると捉えられる（保護者からの事業所評価において）	・引き続き閲覧可能である状況を継続するほか、非常時等における対応について保護者との共通認識を図ることが出来るよう広報誌等を通じてお知らせする